

ボランティア紹介

仕分け虹の会

毎月第4水曜日、総合福祉センター(太平町)で、ベルマークや使用済み切手、各種カードの仕分けや整理、集計を行っています。仕分けを行う物品は、個人や団体、企業の方が社会福祉協議会に寄付されたものです。

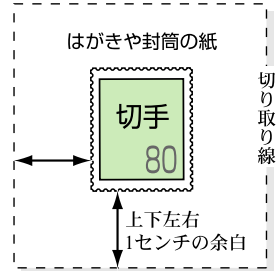
ベルマークの仕分けでは、集められたマークを整理しやすい形に切り、協賛会社ごとに分けて点数を計算します。1点のマークが10枚、1.5点のマークが20枚…のように、点数ごとに何枚あるかを調べ、合計点数を計算します。仕分けされたベルマークは、市内の小・中学校などに社会福祉協議会が配分しています。

使用済み切手の収集方法のお願い

切手の多彩な絵柄は魅力があり、収集家の間で取り引きされていますが、はがしたものが破れたもの、ミシン目が切れているものは、価値がなくなります。

収集方法

- ①切手の周りを1センチほど残し、はがきや封筒の紙ごと切り取る。
- ②記念切手や外国の切手など、種類は問いません。



問い合わせ

多治見ボランティアセンター 電話(25)1131 <担当>古山

生活・介護支援サポーター養成講座を開催しました

11月から12月に掛けて、総合福祉センターにおいて、地域で高齢者の生活を支える「生活・介護支援サポーター養成講座」を開催し、39人が参加しました。

9日間の日程で開催したこの講座では①多治見市の高齢者の現状②これからの地域福祉のあり方③家事援助や身体介護に必要な技術④傾聴の意義とコツなど、福祉の基礎知識や技術を、市内で活動する特定非営利活動法人や地域福祉協議会と交流することにより、理解を深め、実践力を養いました。

講座の修了者は「地域で安心して暮らすにはどうすればいいか考える機会になった」「受講してボランティア活動に前向きになった」と感想を述べ、ボランティアセンターへの登録や関係団体に加入し、地域での活動に取り組んでいます。



地域の福祉課題を探り、自分ができることについて話し合う演習の様子

多治見のお元気さん

今月のお元気さんは、

長瀬町の

味田征士さん(77歳)です。

元気の秘訣は、興味があることにチャレンジすることです。仕事を辞めてから始めた趣味の一つに、写真があります。季節感のある風景を撮るために、山梨県や長野県、新潟県などへ自動車を運転して出掛けます。これまでに撮影した富士山や滝、蒸気機関車などの写真は、大きく現像して老人福祉センター(太平町)内に展示し、利用する方たちを楽しませています。

現在は、老人福祉センターのパソコン教室に通い、技能の習得にチャレンジしています。



「静かな田園風景の中、水田に映る逆さ富士」

障害者福祉センター 俳句コーナー

ふろふきや 好み似てくる 夫婦かな
木村 孝一

春近し 水辺にうつる 白き花
加藤 康紀

